

Rashiku

日本介護福祉士会 ニュース

VOL.187 2026 JUNE 仕事も、人生も、自分らしく、あなたらしく



特集

補助犬と生きる。

支え、支えられ、歩んでいく。

表紙の写真
募集中!
詳しくは14ページへ

new/

教えて!

今村会長!

介護福祉にまつわる用語や素朴な疑問に今村会長がお答えします

[KEYWORD]

第16回

「ACP」って何ですか?

お答え
します

今村会長 吉岡広報委員長

将来の医療やケアについて、本人の意思や考え方を、家族や専門職と繰り返し話し合い、共有していく取組



ACPとはどのようなものですか?
ACPは「アドバンス・ケア・プランニング」の略で、日本語では「人生会議」と呼ばれることもあります。将来の医療やケアについて、本人の意思や考え方を、家族や医療・介護の専門職と繰り返し話し合い、共有していく取組です。病気や加齢などで自分の意思を伝えることが難しくなった場合でも、本人の意思や価値観を尊重した医療やケアにつながることを目指しています。



ACPを始めるには、どのようなことから考えればよいですか?
ACPは、自分がどのような生活を大切にしたいかを考えることから始まります。「どのように過ごしたいか」「何を大切にしたいか」などを整理し、家族や信頼できる人に少しずつ伝えていくことが大切です。最初から結論を出す必要はなく、話し合いを重ねながら考えていきます。



ACPでは、どのようなことを話し合うのでしょうか?
ACPでは、将来の医療や介護について、本人がどのように生活していきたいかを含めて話し合います。例えば、「どこで過ごしたいか」「どのような医療やケアを望むか」「人生の最終段階をどのように過ごしたいか」などが話題になることがあります。また、「家族との時間を大切にしたい」「できる限り自分でできる生活を続けたい」といった、日常生活の中で大切にしたいことを共有することも重要です。



ACPがあることで、家族や医療・介護の専門職にもメリットがあるのでしょうか?

ACPは本人のためだけでなく、家族や医療・介護の専門職にとっても重要な取組です。急な病状の変化などで本人の意思確認が難しくなった場合でも、事前に繰り返し話し合いを重ねておくことで、本人の意思や考え方を踏まえた対応を検討しやすくなります。また、家族にとっても、本人が大切にしていたことを理解していることで、判断に迷いにくくなり、安心につながる場合があります。



ACPをおこなううえで、注意すべき点は何ですか?

ACPは、一度話し合って終わるものではありません。健康状態や生活環境の変化に応じて、本人の考えが変わることもあります。そのため、話し合いを重ねていくことが大切です。また、本人が安心して自分の考えを話せることが重要で、家族や専門職が寄り添いながら、本人のペースを大切にしながら進めていくことが求められます。



ACPは、将来の医療やケアについて、自分の意思や考え方を家族や専門職と繰り返し話し合い、共有していく取組なのですが、専門職としても、本人が大切にしていることを理解し、その人らしい生活につながる支援を心がけていきたいと思いません。

第33回日本介護福祉士会全国大会 第24回日本介護学会

令和8年12/11(金)、12(土) in えひめ



五感で巡る、愛媛の奥座敷「南予」

愛媛県南予地方へ一歩足を踏み入ると、そこは懐かしくも鮮烈な風景が広がっています。

まず目を奪われるのは、佐田岬半島の稜線を縁取る「青」のコントラスト。宇和海と瀬戸内海、二つの海が織りなすパノラマは、四国最西端ならではの開放感を与えてくれます。また、城下町・大洲の「琥珀色」の街並みや、西予市・卯之町の白い漆喰壁を歩けば、時の流れがゆるやかに変わるので感じるはず。

そして、旅の記憶を彩るのは豊かな「食」の香り。宇和島で味わう黄金色の「鯛めし」や八幡浜の湯気立つ「ちゃんぽん」、そして潮風を感じながら頬張る「じゃこ天」。どれもが、この地の厳しい自然と人々の知恵が育んだ至福の逸品です。

訪れるたびに心が整い、新しい活力が湧いてくる。南予は、日常を少し離れて「本当の自分」に帰れる、特別な場所です。ぜひ愛媛県南予へ訪れてください。

